

平成18年度 第1回（平成18年4月27日）図書館運営協議会 会議要旨

1. 出席者

運営協議会委員（11名）

三輪会長・松田委員・武田委員・小滝委員・小野委員・神崎委員・堤坂委員・戸谷委員

（図書館職員）小柳中央図書館長・関根奉仕係長・池田戸山図書館長
図書館事務局

佐藤管理係長・濱田企画調整主査・東主任主事

2. 場所 中央図書館4階大会議室

3. 開会

【会長】

ただいまより平成18年度第1回運営協議会を開催いたします。今年度より、障害者サービス担当である戸山図書館長が林田館長から池田館長に代わりましたので御紹介します。

（池田戸山図書館長 紹介）

本日の議題は報告事項が2件、協議事項が2件です。

それでは、事務局より報告願います。

【事務局】

報告事項

① こども図書館の開館について

5月5日に「こども図書館」がオープンいたします。5月1日付で現在奉仕主査の宮本功が、こども図書館長に任命されます。こども図書館職員は常勤4名非常勤職員3名、計7名となります。開館時間は、全日10:00～18:00です。今までよりオープンスペースを広くとっています。車イスの方も回れますし、書架を低くしておりますので、小さなお子様も利用しやすくなります。団体貸出用のスペースもつくりました。1万6000冊程度の本が収納可能です。後ほど時間があれば見学していただきたいと思います。

トイレについては、オムツを替えるスペースをつくり、ベビーチェアを男女1個ずつ用意しました。障害者の方も利用できるようになっていました。今まで以上に小さなお子さんを連れてくる場合も利用しやすくなります。

② 病院サービスの実施について

今月中に各々病院長と協定を締結しまして、6月から病院サービスを実施する予定です。社会保険中央総合病院、東京女子医科大学病院、厚生年金病院、国立国際医療センターの4箇所になります。各々病院に専用書架を用意させていただき、図書館から本の配架を考えております。病院からの要請もありまして、除菌装置をつかって除菌した本を配架するようにいたします。当初11の病院に働きかけたところ、入院されているお子さんがいないということで断られたケースもあり、4箇所応じるところがありました。今年度から開始させていただきます。

【会長】

こども図書館、病院サービスについての質問がありましたらお願いします。

【運協委員】

病院サービスについて、断られた理由は何でしょうか。

【事務局】

新宿区内には、50床以上ベッドがある病院が11ございまして、そのすべてに連絡したところ、入院している子どもがいない、または短期入院のみで対象者がいないという理由で断られたケースもありました。

【運協委員】

病院への図書貸出は何冊程度を考えていますか。

【事務局】

団体貸出ですので150冊を考えています。

【会長】

図書資料の選定について、入院している子ども向けの選定というのは特にありますか。

【図書館委員】

団体貸出のために用意した本を主に病院に貸し出しします。団体貸出については区内の保育園や児童館を対象に貸し出してきましたが、こども図書館開館に伴い団体貸出を強化するため、現在本を揃えているところです。学校図書館への貸出については、学校図書館から図書館に来ていただき本を選定してもらっています。病院については、職員が150冊を選定して病院に届ける予定です。

す。学校の貸出と病院の貸出を同時に開始すると混乱も考えられるので、学校は5月、病院は6月から実施します。

【運協委員】

学校の団体貸出について別の自治体に住んでいたときに経験がありますが、本も古かった記憶があります。

【図書館委員】

4月に規則を改正し団体貸出の冊数を100冊から150冊にしました。今までは一般の方と同じ条件で選んでもらっていましたが、団体貸出用の本を用意するようにしました。新しい本を揃えるようにしています。

【運協委員】

どのくらい借りられますか。

【図書館委員】

区の施設(小中学校、幼稚園、保育園、児童館)は150冊、一般の団体は100冊といたします。区の施設については選書に来ていただき、2ヶ月に1回配本します。一般の団体は100冊を1箇月間貸出し、ご自分で運んでいただきます。

【会長】

それでは、協議事項についてお願いします。

【図書館委員】

17年3月に図書館運営協議会より提言いただきました14項目について、私どもが現在、図書館の政策調整会議、また教育委員会の経営会議で方針を固めたものについて、今回提示いたします。これは最終的に決定されたものではなく、検討材料として提示するものです。

新宿区全体で平成20年度から基本構想、基本計画、実施計画がスタートします。それに併せて図書館の方向性を決めて、その方向性に基づいて図書館も具体的な事業計画を考えたいと思います。14項目を中心にして、今年度18年度については、全体的にどのようなサービスを拡充していくのか、区立図書館の基本方針を運営協議会での議論を含めて検討していきたいと思います。19年くらいまでに図書館の基本方針を確立したいと思っています。

ITについて申し上げますと、19年度に図書館の耐震補強工事を行います。平成9年度に耐震補強工事の計画があった際には、図書館を4～6箇月休館にせざる

を得ないだろうという意見もありましたので、図書館を休館する間に具体的にIT化を進めていきたいと思えます。ITについては、改めてこの場でお話をさせていただきたいと思えます。ITについては19年度の予算に間に合うように、皆さんのご意見を伺いながら、図書館としての方針を決めていきたいと思えます。

これからお話しすることは決定事項ではなく、協議事項です。思い切った、踏み込んだ発言も期待しています。よろしくお願ひします。

【事務局】

図書館運営協議会の提言14項目の回答について、区として、どのように考えているかについてお話しいたします。

(1) 児童サービス

①子ども読書活動推進計画に基づく関係機関や図書館サポーター等との連携
今年4月に病院配本サービス事業に関する覚書を締結しまして、6月から病院配本サービスを開始いたします。5月に専門学校交流事業に関する覚書を締結する予定です。図書館サポーターについては140名の方が活動されており、今後一層連携を強めていきます。

②児童書のコレクションの構築

団体貸出用の蔵書を充実します。現在56,000冊の児童書がありますが、平成16年度から300万円ほど団体貸出用の図書購入費が予算計上されています。今年度3年目ですが、充実の発展途上です。

③読み聞かせ活動等の推進
児童担当職員が新宿区の児童書の核となるべき本を実際に読んで選び、基本図書として目録を作成し、推奨しています。ブックスタート、ブックトークも始めており、現在健康部が担っています。年間1800人程度の新生児が誕生していますが、保健センターで3.4ヶ月児健診を2日間で行っている。この時に職員が出向き、読み聞かせを実施しています。

この4月からは保健センターに生涯学習振興課のボランティアが出向いて読み聞かせを行っています。そのサポートを図書館が担当します。

④図書館利用の早期指導

新1年生の利用登録の推奨を始めているところです。図書館見学も実施します。児童が図書館情報システム、OPACの使い方を学び、図書館を利用しやすい環境をつくっていきます。

(2) ヤングアダルトサービス

①利用しやすいヤングアダルトコーナーの設置

今までは児童室のいちばん奥にヤングアダルトコーナーがありました。こども図書館では、中高生が利用しやすいように入口にヤングアダルトコーナーを入

口付近に設置します。人生や社会問題に関する資料、進路に関する資料を充実していきます。

②一般職員の選書参加

こども図書館が中核的役割を果たし、児童担当の職員以外に一般職員からも意見を聞き、幅広い選書を目指します。

③地区館のヤングアダルトコーナーの充実

各地区館にヤングアダルトコーナーは設置済ですが、さらに充実を図っていきます。

(3)レファレンスサービス

①参考調査専用のカウンターの設置、②レファレンス専門職員の配置

現在は一般カウンターでレファレンスも行っていますが、耐震工事を行う際にこうした点も改良していこうと考えています。現在考えているのは、中央・四谷の2館で参考調査専用のカウンター設置し、専用の職員を置いて、いつでもレファレンスに対応できるようにすることです。

③職員のレファレンス能力向上のためITサービスを含めたレファレンス研修の拡充

このためには、職員の能力向上も必要です。レファレンス研修も積極的に行います。ITを活用したレファレンスも充実します。利用者の高度な要求にも対応できるようにしたいと考えています。

④利用者へのアピール

図書館が情報発信基地であることを積極的にアピールしていきます。

(4)視聴覚サービス

①視聴覚資料の個人貸出

現在CDが主流ですが、将来、LPやカセットテープ、8ミリフィルムの貸出停止を検討します。特にLPについては、ほとんどの家庭ではLPプレイヤーを持っていません。カセットテープも劣化の問題があります。LPについては、貸出しないで、図書館内での試聴のみとすることも考えています。

②視聴覚資料の団体貸出

現在は16ミリフィルムが主流ですが、将来的にはDVDへの以降を図っていく予定です。

③映画会等事業

2ヶ月に1回「映画の夕べ」を実施しており、これを維持していきたいと考えています。さらに集客力のある作品の上映を目指していきます。

(5)ビジネス支援サービス

①地域活動の振興についての支援、②ビジネス資料の詳細検索が可能なデータベース化

図書館には十分なツールがないので、今後B I Z新宿との連携を強化していく方向で考えています。

③地場産業関連資料の収集

新宿区の地場産業は印刷製本業と染物です。ビジネス街に近い角筈図書館でビジネス関連資料を購入していますが、地場産業関連資料の収集についても強化していきたいと考えています。

④職員の能力開発

経営コンサルタント等専門家・有識者の協力を得ると同時に職員のビジネス関連資料のレファレンス能力を開発していきたいと考えています。

(6) 障害者サービス

①視覚障害者サービスの利用登録の拡大、資料媒体の移行に伴う機器整備等障害者福祉課と連携し、利用登録の拡大を図ります。PRが不足している部位分もある。図書内容をカセットテープに吹き込んで提供しているが、1つ出来上がるのに3～4箇月かかります。利用者の要望を考慮しながらCD、デイジー図書への切り替えを検討していきます。

②子どもの障害者への家庭配本

図書館に来ることが出来ない利用者に対して配本サービスを実施していますが、障害者福祉課と連携をとりながら要望の確認をしていきたいと思えます。

③字幕付映画会の開催

要望を確認し、検討します。

④-1 希望者宅での対面朗読

要望を確認し、検討します。

④-2 音訳ボランティアの増

音訳ボランティアの研修等を実施し、育成に努めていきたいと思えます。

(7) IT (情報技術) を活用したサービス

①ホームページの活用

18年3月に内容を一新し、より利用しやすい内容になりました。今後も、より利用しやすいものを目指していきます。

②有料データベースへの接続

今後、中央図書館の耐震工事を実施する際、パソコン用の空間を設け、有料データベースへの接続等を検討します。図書館は無料の原則がありますが、コピーサービスと同様、対価を求めていきたいと思えます。

③利用者への情報提供

CD-ROMを購入し、レファレンスに活用しています。また、インターネットの利用が出来る端末の設置を検討していきます。

なお、図書館のIT化については奉仕係長を中心に検討を進めております。

【事務局】

IT 技術を活用したサービスについて、19年度の中央図書館耐震工事の期間を利用して中央図書館のIT化を検討しています。中央図書館は2、3、4階で利用者対応を行っていますが、3、4階をワンフロアにして、レファレンスカウンターを独立させ充実したいと考えています。

インターネット、有料データベース、CD-ROMを活用したレファレンスを充実したいと思います。自分で検索したいという要望を持つ利用者も多いので、利用者が使えるインターネットを導入し、図書館を利用しやすくしたいと思います。

視聴覚資料についてもITを活用したレファレンスや、利用者が自分で検索できるシステムも充実していきたいと思います。

また、ICタグの導入も考えています。全国の新設の図書館ではICタグを導入しているところがあります。ゲートを作って無断持ち出しを防止できますし、図書整理も簡単にできるようになります。導入した図書館に聞いてみますと、利用者が自分で読む本が図書館員に知られたくないという面もあり、自動返却、貸出システムが非常によく利用されています。図書館側から見れば、盗難防止や効率性での利点もありますが、中央図書館単独で導入するとしても1億円くらい経費がかかります。導入に関して、来年度予算に間に合わせるために、現在教育委員会全体で検討しております。もう一点、学校図書館との連携、ネットワーク化についてです。

新宿区の学校図書館では42校のうち大半が紙(ブラウン方式)で管理しており、データベース化されていません。そのため、団体貸出に際しても、学校にある本と図書館にある本が、簡単に検索できない状況にあります。現在は学校図書館側に紙でリストを渡し、先生がリストを見比べて選書を行っています。データベース化されれば、もっと効率よく貸出ができるようになります。ただ、学校側にも予算の優先順位がありますので、データベース化の推進にあたっては学校側の判断も尊重しなければなりません。

【運協委員】

校長がどの程度理解して経営方針に入れているかだと思います。やや消極的な校長もいますが、私はネットワーク化が必要だと思っています。

【図書館委員】

子ども読書活動を進めるために、公共図書館をフルに使っていただきたいと思います。

【運協委員】

一つのモデル的な事業として、公立図書館と学校図書館の連携を広げていきたい。津久戸小学校と中町図書館は連携を進めています。まず、できるところから積極的に行っていこうと考えています。津久戸小学校では図書館活用教育を平成18、19年度の研究とし、19年度に広く公開する予定です。

【事務局】

それでは引き続きご説明いたします。

(8) 高齢者サービス

①バリアフリー設備の改善・充実

中央図書館ではエレベーター及びトイレの改修を行っています。今後は改修時等に可能な地区館においてもバリアフリー化を進めていきます。

②高齢者優先席の設置

図書館で高齢者優先席を設けることがいいのかどうかも含め検討いたします。

(9) 外国人サービス

①外国語図書の実充

4館（中央・四谷・北新宿・大久保）で6000冊近くを所蔵しております。更なる充実を目指します。

②韓国・朝鮮・中国3ヶ国語の実充

図書館サポーター（ボランティア）の協力を得て、「図書館利用案内」を英・中・韓の3ヶ国版を作成しました。

③ボランティアとの協働による中国語や韓国語での読み聞かせの実施

平成17年3月、独立法人日本学生支援機構・東京日本語教育センターと外国語によるお話し会の実施に関する覚書を締結し、平成17年度から年4回実施しています。

中国語や韓国語で、日本の童話や昔話の読み聞かせを行っています。

④外国語による館内表示

今後増やしていくようにします。

(10) 学校図書館との連携

①学校図書館スタッフの研修の受入れ

学校との連携を積極的に進めていくために、今後検討していきます。

②学校支援としての団体貸出の強化

こども図書館を機軸に計画的に配本サービスを実施していきます。

③出張お話し会等図書館職員の派遣

こども図書館で派遣スタッフを養成し、職員の読み聞かせ研修を行っていきます。

④図書館利用教育としての児童・生徒の受入れ等

現在も相当数受け入れているが、図書館利用教育のPRのためにも積極的に対応していきます。

(11)大学図書館との連携

①現在の大学図書館との連携

紹介状発行は区民の利用者に限定しています。昨年は8件ありました。大学への紹介状発行形式は今後も継続していきます。

②区内他大学との連携

東京富士大学(平成16年1月20日から)と目白大学(平成17年4月15日から)の2大学については相互協力により利用可能です。現在早稲田大学と調整していますが、他大学とも交渉していく予定です。

(12)開館日及び開館時間の拡大

①地域館7館の夜間1時間延長

火～金曜日まで、夜間1時間開館時間を延長しました。平成17年5月から実施しています。

②センター3館の第4日曜日開館、③年末年始を除く祝日開館

四谷・角筈・大久保の3館については、毎月第4日曜日をメンテナンスのために休館していましたが今年度より年12回のメンテナンスを年4回に減らしました。祝日開館も今年度より開始いたします。

④中央・四谷の夜間1時間延長、⑤中央図書館の通年開館

今後検討いたします。通年開館実施については現行スタッフだけでは対応できないので、管理運営の多様化も含めて検討していきます。

(13)ボランティア・NPOとの連携

①区民が参加する機会の提供

区民や地域団体との連携、強化を図っていきます。

②図書館サポーター活動の拡大

図書館サポーター活動も充実しつつあり、今後は活動内容を増やしていきます。

③サポーター同士の横の連携

横の連携が取れるよう場の提供を考えます。

(14)管理運営の多様化

①業務委託の検討

新宿では直営で運営していますが、23区中16区が委託を導入しています。23区ではカウンター業務については導入館が57%を占めています。

②運営方法の検討

平成14年度から図書館奉仕員制度を導入しています。現在、38名が図書館奉仕員として働いています。新宿区立図書館全体では職員が135名おり、うち司書・司書補が65名、全体の48.1%を占めています。

平成18年2月、事業別コスト計算書で地区館の業務委託の検討を行いました。今後、開館時間・開館日の延長等サービス拡充に伴い運営方法を十分調査・検討していきます。

③図書館サービスのあり方の検討図書館サービスのあり方（提言）を元に、平成18年度中に（仮称）図書館基本方針を策定します。

以上、図書館運営協議会の提言14項目の回答についての報告とさせていただきます。

【会長】

個別の事項でも、全体的なものでも結構ですので質問をお願いします。

【運協委員】

私は新宿区に来る前に、各学校に司書の先生を置こうと運動したこともありますが、新宿区では学校に司書はいるのでしょうか。

【運協委員】

司書教諭は13学級以上の学校に配置しなければならないことになっています。

司書教諭も担任を持っているので、専任ではありません。学校図書館についてはボランティアに頼らざるを得ないのが現状です。ちなみに本校は6学級ですが、司書教諭を置いています。司書教諭の授業数を減らして司書に専念してもらう時間をつくるようにしています。

【事務局】

団体貸出については、昨年度までは22箇所でしたが、希望調査を行い56箇所に増やしました。併せて配本サービスのために200万ほど予算もつけました。

【運協委員】

大学図書館との連携についてですが、私は東京富士大学の利用登録を行い、時々利用しています。他大学との連携も同じように考えているのでしょうか。

【事務局】

基本的にはそうです。目白大学とも同様の連携を実施しています。他大学とも同様に交渉しています。早稲田大学は大学の利用者だけで50,000人もいるのに、さらに区民の利用はどうかという立場です。ただし、早稲田大学エクステンションセンターに入れば早稲田大学図書館が利用できます。新宿区民であれば入会金6,000円（一般は8,000円）で加入可能です。

【運協委員】

小・中学校の蔵書は一校あたりどのくらいでしょうか。

【運協委員】

津久戸小学校では、データベース化したのは6,000冊ほどです。

【運協委員】

大学の図書はほとんどデータベース化されていて、ネットで見ることができます。小中学校でもデータベース化を進めることができれば良いと思います。

【図書館委員】

図書館として希望として話をしているので、決定ではありません。

財政的な問題が大きいと思います。新宿区の場合、一般会計予算1,100億円のうち図書館は14億円、1.37%です。これは全国的にみて悪くはない数字です。これ以上図書館の予算を増やすのは難しいと思います。そうするとサービス拡充のためにどこを効率化していくかを考えざるをえないことだと思います。学校に対しても、学校図書館との連携に重点を置くべきだという判断になれば、そちらのほうに費用をかけることになると思います。

【事務局】

学校図書館は先生と生徒に利用者が限定されているので、どれだけ費用をかけられるのか、費用対効果から見ても難しいと思います。

【運協委員】

学校図書館をどう地域に開放していくか、セキュリティの問題もありますし予算の問題もあります。データベース化についても完成はまだです。ボランティアの協力を得て実施しています。

【運協委員】

ヤングアダルトコーナーがこども図書館の中にあるので、抵抗を感じます。ヤングアダルトコーナーは大人の書架の中に設置してもらったほうがいいと思います。

【図書館委員】

小さな子どもと一緒にならず、中高生が利用しやすいように、ヤングアダルトコーナーは、こども図書館の入口に設置しました。

【事務局】

ヤングアダルトコーナーを大人の書架の中に設置してほしいという声が上がってきたら、対応を考えたいと思います。

【運協委員】

都立図書館が、なかなか手に入らない自費出版の闘病記の本を集めて一つのコーナーをつくっています。それも一つのやり方かなと思います。

【図書館委員】

私もそれを都立中央図書館で見て、このようにテーマを設けて配架する方法もあるのだなと思いました。

【運協委員】

高齢者優先席についてですが、身体障害者用の席は必要でしょうが、高齢者の席は必要ないのではないのでしょうか。高齢者自身も嫌がるのではないかと思います。

【事務局】

高齢者優先席をつくるのは難しいと思います。大活字本の充実を図る等、高齢者サービスについては総合的に考えていきたいと思います。

【会長】

図書館運営協議会の提言 14 項目の回答については、1 番の「児童サービス」から 1 2 番の「開館日及び開館時間に拡大について」までは、基本的にはこれまでの協議会の会議内容や提言を踏まえて、サービスの多様化やきめ細かさが記された内容になっていると思います。こうしたサービスを拡充するために、予算も限られている中で 13 番目の「ボランティア・NPOとの連携」で地域活力を活用する方法や、1 4 番目の「管理の多様化」が出てくるのだと思います。

最後に、専門部会の設置についてです。

専門部会の設置というのは、14項目全体について議論するのではなく、サービスの多様化に対応して、どのように区民の考えを反映するかということで提案したのですが、事務局から何かございますか。

【図書館委員】

専門部会については、図書館の今後のあり方について、サービスの拡充だけでなく、図書館の全体像を検討していくためのものだと理解しておりましたが、今のお話を伺って、もっと焦点を絞って議論していただいたほうが論点がぼやけないのかなと思います。

【会長】

全体を見通しつつ、サービスの拡充を踏まえた管理運営形態を考えていきたいと思います。月に1回ずつ集まるだけでは議論の進展が難しいので、専門部会の提案をさせていただきました。学識経験者3名と、それ以外の方も含めて事務局と相談して、具体的な日程を検討したいと思います。

これで第1回図書館運営協議会を終了します。